発行日：2026 年 9 月 9 日
第 1811005291-2 号

人的資本情報検証報告書

オークマ株式会社　御中

1. 検証の対象

一般財団法人日本品質保証機構（以下、「当機構」という。）は、オークマ株式会社が作成した「2025 年度人的資本情報報告書」（以下、「算定報告書」という。）に記載された 2025 年度の以下の人的資本情報について、同社により作成された「人的資本情報開示における管理規程 Ver.1.0」及び「人的資本指標の算定ルール Ver.1.0」（以下、「算定ルール」という。）に準拠し、正確に算出されていることについて第三者検証を行った。検証対象年度は 2025 年度（2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日）である。検証の目的は、算定報告書を客観的に評価し、同社の人的資本情報の算定の信頼性をより高めることにある。

- 管理職に占める女性労働者の割合（以下、「女性管理職比率」という。）
- 男性労働者の育児休業取得率（以下、「男性育児休業取得率」という。）
- 労働者の男女の賃金の差異（以下、「男女間賃金差異」という。）
- 労働災害による死亡者数
- 休業災害による死傷者数（LTI：Lost Time Injury）
- 休業災害度数率（LTIFR：Lost Time Injury Frequency Rate）
- 全災害度数率（TRIFR：Total Recordable Injury Frequency Rate）
- 強度率

2. 実施した検証の概要

当機構は、「ISAE3000」に準拠して検証を実施した。本検証業務の検証対象項目は、女性管理職比率、男性育児休業取得率、男女間賃金差異、労働災害による死亡者数、休業災害による死傷者数（LTI：Lost Time Injury）、休業災害度数率（LTIFR：Lost Time Injury Frequency Rate）、全災害度数率（TRIFR：Total Recordable Injury Frequency Rate）及び強度率の 8 項目であり、保証水準は「限定的保証水準」、重要性の量的判断基準値は検証対象それぞれの総量における 5%とした。

また、本検証業務の対象組織範囲は、オークマ株式会社単体とした。

検証手続きにおいては、算定対象範囲の確認、算定シナリオの確認、算定・集計体制の確認、人的資本情報に係る算定式の適切性についての確認、人的資本情報の算定結果について根拠資料との突き合わせを行った。

3. 検証の結論

検証の対象とした、算定報告書の 2025 年度の人的資本情報の算定結果において、算定ルールに準拠せず、正確に算定されていない事項は発見されなかった。

4. 留意事項

算定報告書の作成責任はオークマ株式会社にあり、人的資本情報の算定結果の検証の結論に関する責任は当機構にある。オークマ株式会社と当機構との間には、特定の利害関係はない。

東京都千代田区神田須田町一丁目 25 番地
一般財団法人日本品質保証機構
常務理事　浅田純男